

ゆのはな

すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現
～Be true to Rehabilitation～

社会福祉法人 農協共済
別府リハビリテーションセンター

第05号
2017. 1.1
BRCだより



平成29年 春

謹んで 新春の
お慶びを申し上げます

別府リハビリテーションセンター

年頭にあたり皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、引き続きまして当センターへのご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

常務理事
二家本 弘志

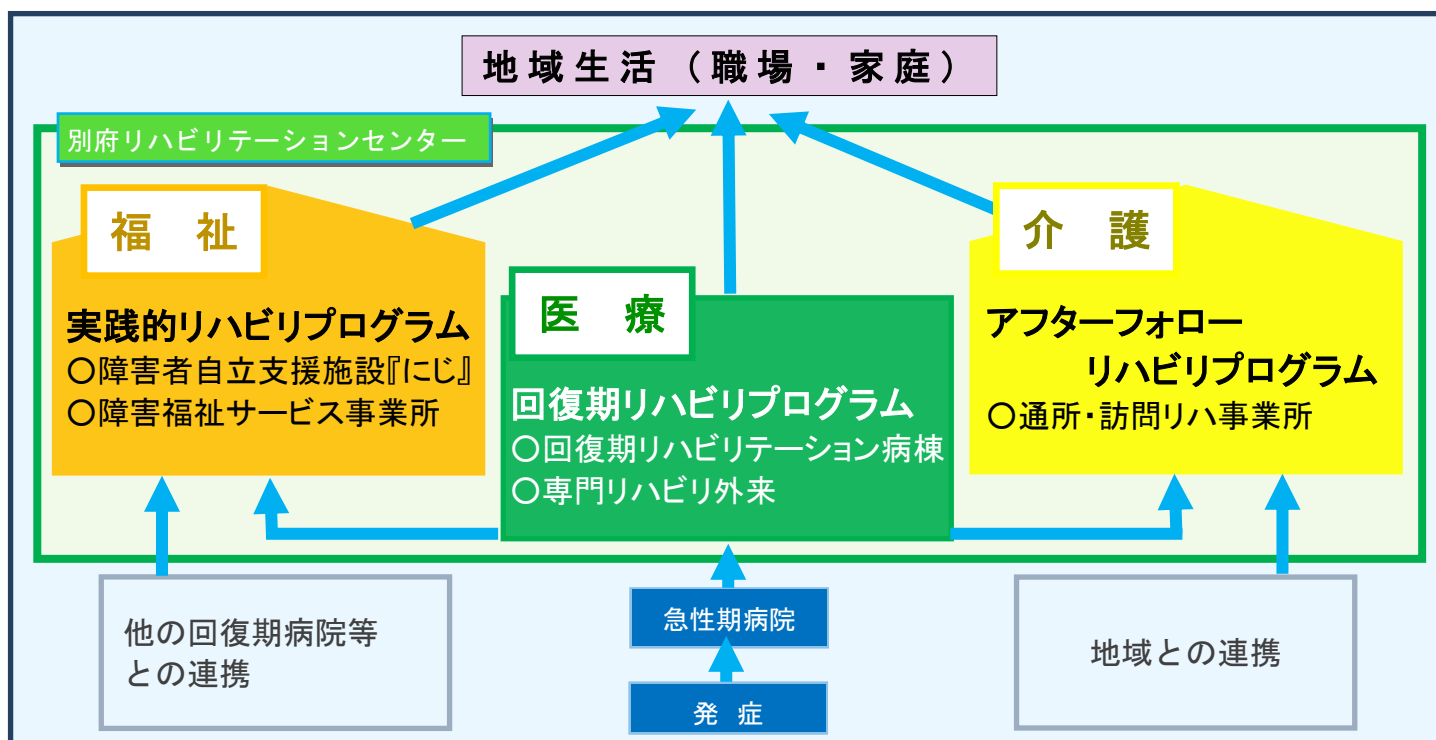


当センターは医療・福祉・介護サービスの連携した総合リハビリテーションセンターとして昭和48年に開設してから、おかげさまで今年で45年目を迎えます。

これからも「すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現」を理念として、病気や事故で障害を負われた方の社会復帰に向けて、リハビリ治療から身体機能回復訓練まで連続したサービスでご支援申し上げるとともに、地域にお住いの高齢者の方々の生活機能維持と張りのある日常生活のお手伝いをさせていただく通所リハビリ・訪問リハビリを提供してまいります。

今号ではあらためまして当センターの事業の概要と、社会復帰にむけた取り組みについてご紹介をさせていただきます。

別府リハビリテーションセンターの事業の概要



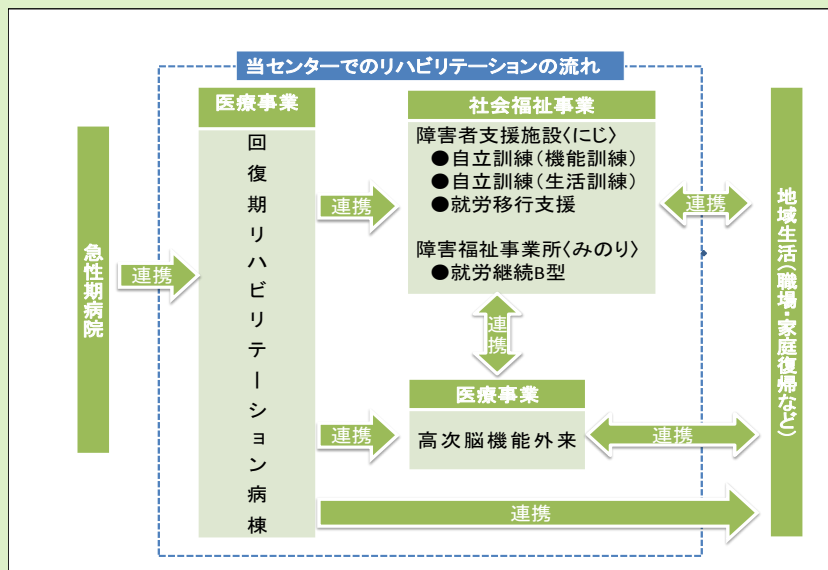
当センターにおける就労支援の取り組み

生産年齢層の方々にとっての「就労」は今後の生活を左右する意味でも非常に重要です。当センターでは、病気やけがにより身体に麻痺が残っている方、高次脳機能障害の診断を受け今まで通り仕事ができるか不安な方、復職は難しいが何らかの形で職に就きたい方等を対象に総合リハビリテーション施設を活用した様々な支援活動を実施しています。

回復期リハビリテーション病棟では、リハビリテーションにおける個別訓練に加え、職場の方との情報共有・社会資源の情報提供等の支援を実施しています。就労に関する内容でご質問等ございましたら、スタッフまでお気軽にお問い合わせください。

より良いサービスを提供するためにアンケート調査や退院後の追跡調査も実施しています。

回復期リハビリテーション病棟退院後すぐに一般就労が難しい場合には、併設する障害者支援施設「にじ」（自立訓練・就労移行支援）や障害福祉サービス事業所「みのり」（就労継続B型）での継続した支援も可能です。（右図参照）



回復期リハビリテーション部 就労支援担当

実践的リハビリテーションプログラムの取り組み

当センター内の障害者自立支援施設『にじ』において、身体に障がいがある方（交通事故や脳卒中の後遺症、先天性疾患で麻痺がある方など）や、高次脳機能障がいのある方に対し”地域生活の実現”に向け、より実践的なリハビリテーションを行っています。

▶ 自立訓練（機能訓練）

- 身体機能の向上を目的としたリハビリテーションや、家事動作獲得やコミュニケーション能力の向上へむけた訓練を提供します。

▶ 自立訓練（生活訓練）

- 食事や家事など、日常生活の向上のためのリハビリテーションを提供します。
- 高次脳機能障がいのある方に対して、症状に応じたリハビリテーションやトレーニングを提供します。

※自立訓練においては、自立した生活へ向け、障害者生活支援センターや居宅介護支援事業所などの、関連サービス機関との連絡調整を行います。また、退所前・退所後の自宅訪問を行い、自立した生活に必要なリハビリテーションや訓練を行います。また、通所でのご利用も可能です。

▶ 就労移行支援

- 一般就労などを希望し、知識・能力の向上、職場開拓などを通じ、企業への就職、または在宅での就労などが見込まれる65歳未満の方に対し、以下を実施します。

- ① 事業所における作業や企業における実習など
- ② 適性に合った職場探しや就労後の就職のための支援など
- ③ 作業や実習などを通じ、適性に合った職場への就職を目的として、必要な訓練など

▶ 施設入所支援

- 自立訓練をご利用の方に対して、宿泊サービスを提供します。
- 居室（80室）は全室個室となっています。



はじまりました

ストレスチェック

安全管理室 臨床心理士 北吉 直子

ストレスの多い近年

近年、日本の労働者の半数以上が、仕事や職業生活に関して強い不安、悩み、またはストレスを感じているといわれています。そして、仕事による強いストレスが原因で精神障害を発病し、労災認定される労働者が増加しています。

データによると、平成27年度における全国の精神障害の労災請求件数の最も多い業種は「医療・福祉」となっています。

厚生労働省は「労働災害防止計画」の項目の一つとして「メンタルヘルス対策」として右の項目を掲げています。

メンタルヘルス対策

- (1) メンタルヘルスケアの教育研修・情報提供
(管理監査者を含むすべての労働者が対象)
- (2) 職場環境等の把握と改善
(メンタルヘルス不調の未然防止)
- (3) メンタルヘルス不調への気づきと対応
(メンタルヘルス不調に陥る労働者の
早期発見と適切な対応)
- (4) 職場復帰における支援

ストレスチェック制度 実施元年

このような状況下、平成26年6月に労働安全衛生法が改正され、「ストレスチェック及び面接指導の実施」が事業主に義務化されました（労働者数50人以上の事業所）。そして、平成27年12月からの1年間に1度、ストレスチェックを実施することが決まりました。

当センターでのストレスチェック

当センターでも、平成27年度1年間かけて「労働安全衛生委員会」にて、調査審議をおこない、平成27年12月1日に管理職対象研修会、平成28年6月23日に職員対象説明会を実施した上で、平成28年7月にストレスチェックをおこないました。そして、9月にその結果とストレスに関する評価とアドバイスをつけ、封書にて職員に返却し、セルフケアを支援しました。

ストレスが高めであった職員には、結果用紙と共に、センター内の相談窓口（健康相談・心理相談）や外部の相談窓口の紹介、近隣の医療機関のリストなどを紹介しました。

平成28年度中にその結果を組織として分析し、今後の職場環境改善につなげていく予定です。

こころのストレスも早期発見、早期対応が最も望ましいとされています。

当センターでは、平成19年から臨床心理士による職員のメンタルヘルス相談窓口を設け、気兼ねなく気軽に相談できる場を提供しています。職員のストレスマネジメントを実践し、良好な院内コミュニケーションを確立させ、質の高い安全な医療サービスを提供して参ります。

当センターの理念である「すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現」をもとにすべての方々がお住まいの地域でしあわせを感じながら生活を送られるようにお手伝いできること。

それが私たち職員のしあわせでもあります。当センターの理念を実現するために、まずは私たち自身の職場環境改善に努めたいと思います。

しもじょう あけみ

下條 明美

回復期リハビリテーション部 課長



昭和54年に入職して、37年が経とうとしています。その間に当センターの職員数は5倍に増え、医療部門は回復期リハビリテーション病棟へと変わり、現在に至っています。就職した当初は仕事と家庭の両立が大変でしたが、福利厚生面が整っており、上司、スタッフ、家族の協力が得られたおかげで今日まで働くことが出来ました。

年を重ね、看護師としての責任感や管理者としてのリーダーシップが求められていくなかで、特に人事考課時の目標面接が大変でした。スタッフの話を傾聴し、いかにやる気を起させるか、どう支援したら一人一人が目標に近づくことができるのか、毎回悩みました。また、管理者としてリスク管理について取り組んできました。リスク管理は、患者の安全が第一優先であり、患者・家族・職員間との信頼関係も欠かせません。“私の家族だったら”という思いで接してきました。

センターでの様々な経験が私を看護師として、管理職として成長させてくれたと思っています。

別府リハビリテーションセンターは患者を大切に思う心、接遇面や安心・安全な療養環境は西日本一だと私は自負しております。私が今、公私ともに充実した生活を送ることができるのも、このような職場環境で働くことができたからです。すべてに感謝の気持ちです。銀座まるかんの創設者、斉藤一人さんは、「あたり前のことなど一つもない『あたり前』ではなく『有難い』ことだと思う心が大切」と言っています。これからも感謝の気持ちが持てるよう日々努力です。

クリスマス バイキング

病棟主催 おたのしみイベント 待ちに待ったクリスマス会！！

毎年恒例の「クリスマスバイキング」。今年は平成28年12月20日の昼食時に開催しました。

ツリーサラダやから揚げ、にぎり寿司、グラタン、エビチリなど10品目以上の料理が並びました。

A病棟



A病棟ではサンタに扮したスタッフが場を盛り上げ、食後にコーヒー・紅茶を提供しました。

「久しぶりにコーヒーを味わったよ」とたくさんの方の笑顔にあふれ、好評でした。



B病棟



B病棟では、色とりどりの料理を取り分け、談笑しながらクリスマス気分を満喫しました。

食後も、コーヒーを飲みながら、ゆったりとした雰囲気をもみんなで共有し、今後のリハビリへの活力へととなりました。



編集後記

平成29年がやってきました。年号が「平成」に変わってから早29年。平成元年生まれはもう29歳、子どもがいてもおかしくない立派な大人になりました。平成19年に生まれた我が子も、気が付けばもう10歳です。子どもの成長は早いと言いますが、本当にあっという間ですね。その間に自分も実は10歳としを取りましたが、この件に関しては触れないでいようと思います。今年は酉年です。トリが天空を飛ぶような、飛躍の一年としたいものですね。

各施設のご案内

- ◇ 病 院
- ◇ 障 害 者 支 援 施 設 < に じ >
- ◇ 相 談 支 援 事 業
- ◇ 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 所 < み の り >

- ◇ 通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 事 業 所 < ふ れ あ い >
- ◇ み ょ う ば ん ク リ ニ ッ ク
- ◇ 通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 事 業 所 < み ょ う ば ん >
- ◇ 通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 事 業 所 < あ お そ ら >

発行： 社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター

日本医療機能評価機構認定 / 日本脳卒中学会認定研修教育病院 / 日本リハビリテーション医学会認定研修施設



〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10

TEL0977-67-1711 FAX0977-67-1712 <http://www.brc.or.jp>